

# 一覧表示機能、ファイル共有機能

小学校 第5学年 総合的な学習の時間  
「コンピューターと私たちの未来」

- (1) ねらい 自分が意図する一連の活動（ロボットを動かす）を実現するために、どのような動きの組み合わせが必要であるのかを既習のプログラムをもとに考え、一つ一つの動きに対応した記号をどのように組み合わせたらよいかを論理的に考えながらロボットを動かすプログラムを作成する。
- (2) 評価規準 ロボットが物資を輸送するためのルートを考え（A3の紙面上）、既習のプログラムを活用し、試行錯誤しながら物資を輸送するプログラムを作成している。
- (3) 学習展開 (6/8)

過程	学習活動	教師の指導・援助（留意点）
導入	<p>1 本時のロボットを動かす目的について共通理解を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>月での作業であることを想定。（人が直接活動できない場面）</li> </ul> <p>月の石をロケットにのせるプログラムをつくろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時までに習っているプログラム等がすぐに振り返ることができるように、画面共有しておく。</li> </ul> <p>【ICT活用の工夫】</p> <p>大型液晶装置を2つ準備し、既習内容が確認できるものと、本時の学習する内容が比較できるようにする。</p>
展開	<p>【条件整理】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ビー玉を月の石とする</li> <li>月面上はA2用紙の上とする。</li> <li>スタートは左上（ロボットが置かれている場所）とする。</li> <li>目的地は、右下のロケットの絵の上に、ビー玉を置くこととする。</li> <li>ロボットが動きやすいように、A2用紙の上に透明のシートを置くこととする。</li> </ul>	<p>【ICT活用の工夫】</p> <p>どのようなプログラムをつくれればよいかの見通しがもてるよう、児童が考えたルートを画面共有する。</p>
終末	<p>2 ロボットが動くルートを考える。</p> <p>【条件整理】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ルートは自己設定する。</li> <li>障害物等のことも考え、最短ルートではなくてもよいこととし、これまでに学習してきたプログラム（ロボットを動かすためのブロック）をもとに、ルートを決定する。</li> </ul> <p>3 これまでのブロックの組み合わせをもとにしながら、目的地までビー玉を運べるように試行錯誤する。</p> <p>4 プログラムができた児童から、プログラムをスクリーンショットし、気付いたことをまとめたページとともに、共有フォルダに提出する。</p> <p>5 仲間の作成したプログラムと自分が作成したプログラムを比較し、仲間のプログラムのよさをリフレクションシートにまとめ、本時に学習した振り返りをかく。</p> <p>6 次時の学習したこと（プログラミング）が日常生活において、どのように生かせそうなのかを考える</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロボットが動かない原因がわからない児童に対し、机間指導をしながら、原因を解決するためのプログラムの助言を行う。</li> </ul> <p>【ICT活用の工夫】</p> <p>共有フォルダに提出されたプログラムや児童の感想にリアルタイムで評価をし、コメントをかく。（コメント入りのシートも閲覧可能にしておく）</p>